

上新屋遺跡通信

No. 1

(財) 浜松市文化振興財団・浜松市生涯学習課文化財担当

2008年6月10日

◆ 上新屋遺跡の発掘調査を開始しました



⑤ 遺構検出（遺跡の地層表面を丁寧に削り昔の人々の生活の痕跡を探します。）

(財) 浜松市文化振興財団は、6月2日から浜松市東区上新屋町にある上新屋遺跡の発掘調査を始めました。去る4月21日に行った試掘調査で、地表から約1m下の地層から、奈良・平安・鎌倉時代（8世紀～13世紀）の土器片が見つかり、今回の調査地が遺跡の中にあることが確認されました。この遺跡の本格的な調査は今回が初めてで、今後、8月までの約3か月をかけて発掘調査を進めていきます。

現在（6/6）は、北側調査区において表土の重機掘削を終了し、遺跡が含まれる地層表面の調査を始めたところです。まだ、はっきりとした遺構（建物跡、溝、穴等）は確認できませんが、調査区全体にわたって土器片（主に7、8世紀の須恵器や12、3世紀の山茶碗等）が出土しており、調査の進捗が待たれるところです。

これからも本通信を通じて、調査の様子や遺跡の内容についてお知らせしていくつもりです。楽しみにしててください。

◆ こんなふうには調査を進めています

発掘調査というと竹べらや刷毛で土器を掘り出す細かな作業を想像すると思いますが、それは調査のごく一部分で、最初は次のような手順で進められています。



① 調査区表面のアスファルトを撤去



② 表面の土（約1m）を重機で掘削



③ 掘削後、表面や壁をきれいに整地



④ 排水溝を掘る



⑥ 出土した土器の一部

◆ 発掘調査現場は見学できます。

上新屋遺跡の発掘調査は、平日の晴天時、午前8時30分から午後4時30分まで実施しています。作業時間内でしたら、発掘現場を見学できます。お気軽に担当までお問い合わせください。

なお、作業時間以外の現場立入は危険ですので、ご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

